

モニター通信 No.3

皆さんから寄せられた「モニター通信9月分」を紹介します。

「生命・損害・自動車保険等の加入(契約)で気をつけていること」

モニターから No. 1

8月に自動車保険の契約継続の手続きを致しました。一年毎の契約ですが、今までは保険事務所の方の言う通り「ハイ、ハイ」というような契約方法でしたけれど、今回あらためて自分で保険の内容を見て読んで、納得してから契約をしました。車も古いので、契約自動車の盗難とか破損、その他車自体の損害の場合の補償は除きました。その分、対人・対物の賠償に対しては無制限としました。

年齢のことも考えて「決してこの保険を使わない」というつもりで、安全運転を心掛けております。

モニターから No. 2

現在26歳になる長男は、夫の両親の家へ行くとしばしば祖父母から車の運転を頼まれます。私は、慣れない車で慣れない道を走り、もし事故を起こして無保険になるかもしれないと思うととても心配でした。その時に新聞記事で、親や友人の車を借りて運転するという場合の、一日単位で必要な日数分だけ加入出来る自動車保険の記事を見つけました。夫の両親の家へ行った時に、この保険に加入したらと話していたところ、夫が先ず運転する車の保険について調べてみてからにしては、と言いました。さっそく調べてみると、夫の父の車は、30歳以下の人については、保険が適用できることがわかりました。

私自身、免許は持っていますが車の運転をしないので、保険についても夫任せでした。今は以前と比べて様々な種類の保険が出てきています。自分の心配事を解消してくれるものであったとしても、すぐに飛びつくのではなく、よく調べて、出来れば誰か詳しい人に相談してから決めることが大切だと分かりました。

モニターから No. 3

「通信販売に対する疑問と注意」

新聞を広げると、通販製品が目にとまります。欲しい製品がズラリとあり、つい手を出したくなります。しかしよく見ると、自分に対する製品の良し悪しが分からないことが多く、身に付けて確かめられないのが現状だと思います。不安のまま購入して、そぐわない場合は8日以内に返品せよとのことです。その場合は、送料は購入時と返品時の2回は自分持ちです。楽しい買い物で不愉快になるのはたまりません。

納得できて楽しい買い物を行うため、ちょっと調べましたら「JADMA」(公益社団法人日本通信販売協会)ガイドブックでは、ちゃんと消費者保護をしているのが分かりました。消費生活製品(家電・ガス等燃焼器具・衣類・靴・家具等生活雑貨)の安全性など、流通業者への社会的責任を示したものでした。

購入意思ができましたら、通販業者にはメーカーからのカタログと製品の性能・企画・保障を取り寄せするなど、事前確認が必要と思いました。通販製品購入は、手に取って確かめられないものがほとんどです。楽しく買い物するために、ちょっと勉強しました。参考になればと思います。

モニターから No. 4

保険を選ぶ際に注意していることは、金額で決めないことです。生活や財産を保障してくれるのが保険です。その保障が後回しになり、保険料で選んでしまうのは本末転倒ではないでしょうか。確かにあまりにも高い保険料は生活を圧迫しますが、やはり補償を重視することが重要です。よく聞く名前の保険だから安心だと思ひ込みやすいので、注意しています。大手の保険会社だからといって、良い商品とは限らないことを覚えておきましょう。自分がなぜ保険に入るのか、どんな保障が必要なのか。会社からではなく、商品からさかのぼって選ぶのがコツです。

そして今の時代に知人からのお願いで保険に入るのは、かなりのナンセンスではないでしょうか。昔と比べると、保険へ加入する窓口は保険販売人から来店型ショップ、インターネットにいたるまで、幅広いものになりました。自分が入りたい保険にはどんな種類があるのか、しっかりと調べてから加入するのが重要ではないでしょうか。自分から入るのが「保険」です。

モニターから No. 5

くらしのセミナー「知っ得と安心 食品表示」に参加して。
先だって、中国の食品加工会社が品質期限を過ぎた肉製品を出荷して問題になったことがありました。国内でも、昨年秋にホテル・百貨店等で発覚した料理等の虚偽表示がありました。
セミナーには、加工食品の原料の産地表示など興味を持って参加したのですが、質疑応答の時間が少なく残念でした。栄養成分表示・景品表示など食品表示法が今後5年以内に一元化されて施行される件は、良い勉強になりました。この配布資料を基に食品表示を今まで以上に注意していきたいです。

モニターから No. 6

よく電話で、保険の見直しの誘いがあります。「お得です、お得です」と言って勧められます。私は「子供が保険の取次店をしていますので」と断りしています。実際、保険に関しては子供と相談して掛けます。生命保険は、もう全部満期になっています。60歳を超えてからは、夫婦で相談して「病気、怪我、死亡した時は、その時出来る範囲で良し」と決めています。

自動車保険は、自分だけ痛い目に遭うのなら良いのですが、他人様に迷惑をかけてはいけませんので、自動車屋さん・保険屋さんと相談してしっかり掛けています。損害保険(火災保険・地震保険)は、住居が無くなるのは困りますので掛けています。

掛け金が高いことと、お国も会社も信用するほかない弱い立場がチョッピリ恨めしいです。

モニターから No. 7

いざという時の備えのために、補償が充実した保険に加入しておきたいという気持ちはあるが、保険料の事を考えると「これくらい」という一線を決めている。

最近はインターネットで加入申し込みをすれば割安になる商品もあるし、月々少額で加入でき

るものもあるので、用途に応じて使い分けている。また、加入の際にはいくつかのプランを比較検討することも欠かさない。

ただ、何事もないのに毎月払い続ける保険料は家計には大きな負担ではあるが、何もない事が良いことだと思って払っているのが現状です。

モニターから No. 8

生命・損害・自動車保険、どれも加入しています。生命保険の加入に気を付けたことは、子供がいるので教育費がかかる時期に更新して保険料が高くなるか？子供の年齢によって保険の内容を変えるか？など、いろいろ検討しました。入院即日払いも気になるポイントでした。夫婦セットに加入していますが、次の更新でまたいろいろ変更を考えています。

損害保険は、やはり地震の時、火災の時に加入していないと不安ですね。自動車保険では、出来るだけ相手や搭乗者に配慮している保険を選びました。いろいろ特約が付いているプランもあり、保険はとても難しいと思います。

最近気になっているのは子供の自転車保険で、加入しようかと考えています。すべての保険の更新時には新たに増えているものもあるので、もう一度よく見直してみようと思います。

モニターから No. 9

今まで何となく大丈夫だろうと思って、自分が事故にあうことはそんなに現実的に考えていませんでした。今回7月に事故にあってしまい、私自身、自動車保険について何も分からないことを本当に恥ずかしく思った次第です。自分が事故を起こした時の補償に関してはいろいろと掛けていましたが、事故にあった時は本当におそまつでした。

必ずしも相手がきちんとした補償をして下さるとは、任意の場合、限らないことに初めて気付いた今日この頃で、もう一度しっかりと気を付けなければと思う次第です。

モニターから No. 10

生命保険は、夫が退職後は解約をしました。損害、共済や自動車保険には加入しています。契約時に気を付けていることは、面倒でも一通り文書に目を通しています。特に細かい文字や見にくい場所(注意事項が書いてある)等は、注意してみるようにしています。以前、消費生活センターの研修セミナーで学習してからは、注意するようにしています。前年度の契約内容とあまり変化しないようにしています。疑問がある時は電話で保険会社に確認するようにしています。

モニターから No. 11

「自動車保険の満期切り替え」

先日、自動車保険の満期の知らせと、おすすめプランの案内が届きました。昨年度は保険会社に安くなる内容を依頼して変更してもらいましたが、同じ内容で今年の保険料は7%も値上がりしていましたので、電話で問い合わせました。高齢者の場合、年々値上がりするそうです。何も悪い条件は無いのですが、他に安くなる条件はありませんでした。

どこの保険会社でも条件は(金額・範囲)同じなのか問い合わせると、自動車保険会社22社以上で多少違いがあることが分かり調べてみましたところ、今回は金額よりも1~1.5万円も差があることが分かりました。今までは勤めていた会社の関係上で、変更しないままに継続してい

たのが間違いでした・・・。

高齢者に厳しい世の中です。賢い対応を考えます。

モニターから No. 12

生命保険は、概ね長期契約のものが多くありますが、その時々々の年齢・家族構成・子供の人数や年齢によって必要な保障が、その都度異なってきます。自分のライフスタイルや今後の生活まで見据えて、無駄のないよう、かつ十分な保障を確保しておきたいところです。

損害保険で入っていた方が良いと個人的に思うのは、自動車保険や個人賠償責任保険です。万が一に備えて、安価で大きな保障だと感じています。更に自然災害も保障する火災保険や、地震保険も最近の状況を考えると、前向きに検討し、無駄のない保険料の中で入っておいた方が良いと考え、保険金額もチェックしています。

自動車保険は多くが1年更新型ですが、毎年しっかり保障内容をチェックして更新するようにしています。漠然と更新を繰り返していると、年齢条件や車の用途などが現状と合わなかった、ということも考えられます。また傷害保険や人身傷害、搭乗者傷害などが、保障が重複し保険料が高くなるように気を付けています。

どの保険も万が一のためには必要最低限をしっかりと掛け、もれがないようにすることが大切だと思っています。

モニターから No. 13

医療保障付きの保険は、先進医療も受けられるようになるというセールストークで見直しを勧められることが多い。入院したらこれだけかかりますよ、という従来型のトークに保険がカバーしない自由診療を並べ立てて不安を煽る。自由診療を選ぶかどうかは別として、高額医療は還付金があるので、高額な保険料を払ってまで見直す必要はないと思う。契約する時は、そうした不安をかき立てる言葉に踊らされないように気を付けている。

計算すると、保険でプラスになる人はほとんどいない。しかし、安心を得るという意味で保険を買うわけなので、生活費と照らし合わせ、リーズナブルな保険を選ぶようにしている。既往症があると入れなかったり、保険料が高額になったりするので、保険を選ぶタイミングも大事だと思う。

モニターから No. 14

保険の加入については、必要な保険と加入しておいた方がいかもしれない保険とに分けて、その都度考えている。必要な保険とは自動車関係の保険であって、その中でも義務の保険と加入しておいた方がい保険とある。義務の保険(いわゆる自賠責)は加入せざるを得ないが、任意保険も車を運転する以上何らかの事故の可能性が大きいから、必ず加入する。任意とは言え、代理店と毎年よく相談して内容を決めることにしている。去年と同じということにはしない。生命・損害・火災・医療関係保険は契約期間が長期であるので、支払いを続けられるか、設定する期間内にどの程度のことが予測されるかが難しいので保険会社に相談することになるが、会社としてはなるべく高額で長期の契約をしたいのであろうから、自分自身でもよく考えることにしている。

今のところ、医療関係に関しては現在健康であるので、保険に加入するより貯金・投資などにより自己資産を何かあった時のために確保しておくことにしている。損害保険は、わりと少額な

保険金で大きな保障が得られるので、例えば海外旅行をするときには必ず加入する。また損害保険もちょっとした怪我でも保険金が支払われるので、わずかな保険料で常時かけることにしている。これは毎年更新である。大震災の時には、保険に入っていて本当によかったと思った。

年齢・ライフスタイルの変化を常に考えて、その時に支払いのできる範囲内で安心料として、保険加入は必要と思う。

モニターから No. 15

我が家に入っていた火災保険には地震保険が無く、また見舞金も出なかったので、別の同じくらいの掛け金の保険に替えました。また、以前、落雷の損害を補償してもらい(風呂釜・電話機)助かりました。これは火災保険で補償してもらえるとということを人に教えてもらったからで、私も折に触れ話題にするようにしています。助かったと言われたこともありました。

自動車保険は万が一のことを考え、相手への補償は無制限にしています。また、年齢的なことや一人暮らしであることを考え、先日弁護士費用特約を付けました。運転はもちろん、今まで以上に慎重にと心掛けています。

先日、食品添加物の講座を受けましたが、その添加物の必要性・安全性について、より詳しく勉強したかったと思いました。無駄な添加物はつけないようにしてほしいです。例えば、発色剤・漂白剤等。

モニターから No. 16

保険は各社いろいろな保険を出しているので、種類の多さに驚き選ぶのに迷ってしまうほどです。人は災害に遭ったり、けがをしたり病気になってみて、初めて保険の必要性を認識するのではと思います。地震が起きれば地震保険、怪我をして傷害保険等です。保険はお守りのようなものなので、気持ちの上で安心感を与えてくれますが、いくつも加入してしまえば家計を圧迫しかねません。保険代で生活に支障をきたしてしまえば、本末転倒です。今の自分に何が必要なのかを見極めることが大切だと思います。

さらに契約方法も様変わりし、インターネットでも簡単に契約することが可能になりましたが、安易に契約してしまうと細かい約款に気が付かず、支払いにつながらない等のトラブルもあるようです。保険の窓口も開設されています。シミュレーションや見積もりをしてもらい、自分に合った保険を選び、心にゆとりのある生活を目指したいものです。

モニターから No. 17

多くの保険商品から、個人年金保険型の生命保険、損害保険としては火災保険、自動車保険、それにがん保険に加入しています。これらの保険は、会社や大学に勤めていた時に加入したものを継続しています。

加入時には、災害、事故、病気への備えとしてはどのようにカバーしていくかとか、あるいは保険料の支払いに無理がないかとか、自分にとって保険の必要性について考えました。例えば生命保険は老後の足しに、損害保険は日常生活でもしかの時の必需品ですし、加入しておかないと他人にも迷惑をかけます。団体割引のある加入保険もありますが、火災保険やがん保険は掛け捨てです。生命保険は幸いにして退職して受給年齢になり、有効に活用していますし、自動車保険は雹の被害や自動車事故の際、補償されました。

何時、自分も加害者になるかもわかりませんので、できる範囲でカバーできればと思っています。

モニターから No. 18

保険はめったに見直すことはありません。ですが昨年、自動車税・自動車保険と大変なので相談したところ、車輻保険を外すと安くなると言われ、そうしました。今まで何十年も乗っていて、自動車保険はほとんど使ったことがありませんでした。アドバイス通り、掛け金が半分以下になって驚きました。車は必需品なので、更に気を付けて運転しようと思いました。

生命保険は先日更新しましたが、仕組みが難しくて、どうしてもセールスの人が勧めるものを付けてしまいがちです。どうしても必要なもの(保障)と掛金のバランスが大切だと思い、きちんと伝えました。保険はお守りみたいなもので、最低限入っておこうと思っています。

モニターから No. 19

車の保険は、車輻・対物・対人。いつ何が起こるかかわからないので、最大の枠で安全を確保しています。生命保険は主人と二人分だと相当額になるので、仕事をしている間は支払えるが、退職したら無理だと思うし、高額な割にはそれに見合ったものかというところ少し疑問でもあり、ここ1、2年でしっかり見直す必要があると思う。

ガン保険は、兄がガンになり、たまたま仕事の付き合いでガン保険に入っていたのが、大変役に立ち助かったとの話を聞いて、入っておくべきだなと痛感しました。予期せぬ事態への安心を買うということですかね、保険とは・・・。

モニターから No. 20

年を重ねると新しい生命保険には入れなくなり、さらに今入っている保険も入院・死亡時の給付金も少なくなるので、今入っている保険の中で掛け金が少なく、ある程度の入院保障のあるものだけにした。地震、火災保険は集合住宅の場合は個人では入れないので(マンションで入る)災害の時の家財保険に入っています。自動車保険は対人・対物の保障を重視して対応の早い親切な保険会社を選びました。

モニターから No. 21

若い時は、健康でいるのであまり保険のことなど考えていなかった。ある年齢になると必ず必要になってくる。入るには数多くのパンフレットを取り寄せ、まず自分には何が必要かを考える。三大疾病・ガン・先進医療・介護保険などあるが、まず内容をよく理解し約款をよく読んでから入るようにしています。

満期日もよく把握しておくこと。知人は保険に入っているからと長い入院をしていたのですが、請求書を出してみたら一年前で終わっていたとのこと。まったくの掛け損になってしまったと話していました。

各種の保険は、家族・自分の生命を守るためには、与えられた環境の中で最小限でも加入しておく必要があると考えています。

モニターから No. 22

保険にはそれぞれ特色がある。特色をよく理解し、加入する必要がある。それには面倒でも約款をよく読み、諸条件を理解したうえで加入するようにしている。生命保険は高年齢になると契約出来なくなるので、若いうちから高年齢をカバー出来る満期になるよう契約している。

医療保険は高齢化すると保険金が半額になるので、時々契約を見直して必要に応じ増額契約をしている。最近ガン保険以外でも先進医療が付保されている商品が発売されているので必要に応じて加入するようにしている。

損害保険は地震と火災と同一の会社と契約するようにしている。自動車保険は補償が高額になってきているので、不足のないよう、また保険料の割引が受けられるよう事故を起こさないように努めている。

モニターから No. 23

定年後、生命保険の内容を検討して保険内容を下げたところ、様々な病気を続出する。現役では一度も受けたことがなかった手術を受け、多額の出費を要する。定年後は必ず病魔に取りつかれるので、生命保険内容は見直さない方が良いと思う。

一方、自動車保険は現役中と異なり、車の移動も少なくなっているので、事故補償内容を見直して負担を少なくするのは妥当と思われる。以上、保険の見直しについての私の体験したことのレポートです。

モニターから No. 24

自動車保険の契約で私が気を付けていることは、「不明点があるまま契約しない」である。毎年、満期のお知らせが届く時に、今の契約より少し値段の高いおすすめプランがあっても、まずネットで無料一括見積を使って値段を比べている。そのうえで、代理店の方と会った時に、おすすめプランで加えられているオプションの詳細と他社の安さの理由をよく質問して、この保険料で妥当かなというプランを選んで契約している。

一番大切なのは、代理店と信頼関係を築くことだと思っている。

モニターから No. 25

基本的に、保険料は掛け金が高く掛け捨ての部分もあるので、今まで必要最低限の加入で済ませてきました。自動車保険だけは「安心料」として無制限加入は欠かしませんでした。その他、種々の保険は、高齢者なので必要ないのではないかと考えています。病気の際には「高額療養費制度」もありますし、日々の暮らしを見直し加入する必要があるかどうか、良く見極めることが大切だと思います。